

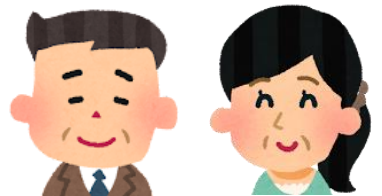


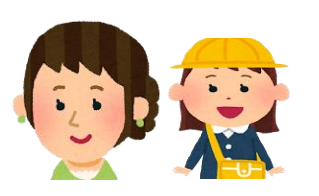


保険料試算モデルケース

実在した国民健康保険加入者世帯を参考に、モデルケースを作成しております。

令和4年度から10年度までの7年間で保険料の見直しを進めており、令和11年度の標準保険料率へ段階的に近づくよう保険料率を引き上げます。

なお、保険料賦課限度額の引き上げ、保険料算定にかかる所得割と資産割の比率見直し、及び子ども・子育て支援金分の加算を反映したモデルケースは以下のとおりとなります。

ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース5	ケース6
 妻(72歳): 年収96万円	 夫(72歳): 年収490万円 妻(68歳): 年収490万円 ※年収=給与収入426万円+年金収入64万円	 夫(64歳): 年収110万円 妻(61歳): 年収0円	 単身(57歳): 年収144万円	 夫(45歳): 年収600万円 妻(44歳): 年収0円 子(9歳): 小学4年生 子(5歳): 未就学児	 母(28歳): 年収0円 子(3歳): 未就学児
合計所得金額 0円	合計所得金額 594万円	合計所得金額 55万円	合計所得金額 89万円	合計所得金額 436万円	合計所得金額 0円
※夫(76歳)が後期高齢者医療保険へ移行に伴い、特定同一世帯減免を受けている ※応益(平等割)5割軽減	※持ち家 ※固定資産税 27.4万円 ※応益(均等割・平等割)軽減なし	※持ち家 ※固定資産税 12.7万円 ※応益(均等割・平等割)5割軽減	※賃貸暮らし ※固定資産税 0円 ※応益(均等割・平等割)2割軽減	※賃貸暮らし ※固定資産税 0円 ※応益(均等割・平等割)軽減なし ※子どもの均等割5割軽減	※賃貸暮らし ※非課税世帯(ひとり親) ※応益(均等割・平等割)7割軽減 ※子どもの均等割5割軽減
R7年度 59,050円/年	R7年度 560,001円/年	R7年度 141,617円/年	R7年度 116,768円/年	R7年度 568,384円/年	R7年度 28,800円/年
R8年度見込み額 60,550円/年 (年1,500円引上げ)	R8年度見込み額 609,687円/年 (年49,686円引上げ)	R8年度見込み額 137,572円/年 (年4,045円引下げ)	R8年度見込み額 121,808円/年 (年5,040円引上げ)	R8年度見込み額 618,494円/年 (年50,110円引上げ)	R8年度見込み額 29,205円/年 (年405円引上げ)

○標準保険料率

年度	医療分				後期高齢者支援金分				介護納付金分 (40歳以上65歳未満の被保険者)				子ども・子育て支援金分 (※18歳以上の被保険者)				合計			
	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
R11	7.60%	—	33,500円	19,400円	3.24%	—	14,100円	8,100円	2.50%	—	13,300円	6,400円	0.17%	—	1,000円	600円	13.51%	—	61,900円	34,500円

※18歳以上の被保険者は18歳に達する日以後の最初の3月31日以前の子ども(高校生年代までの子ども)を除く。